

第3回リニア駅周辺整備検討会議の報告

日時：平成27年12月22日 9:00～

場所：飯田市役所 第2委員会室

1 会議内容

- (1) 第2回検討会議の内容について
- (2) 各部会の経過について
- (3) 魅力発信部会の検討内容について
- (4) 駅周辺整備の整備範囲について

2 主な意見の概要

(1) 全体事項

- ・ どのような人が利用するかのご想定について、いずれ再度調査したほうがよい。
- ・ リニア開業時の交通手段については、予測できない面があるので、基本計画を策定後も、柔軟な対応が必要である。
- ・ 飯田市が環境モデル都市であることを踏まえ、検討していく必要がある。
- ・ ユニバーサルデザインに配慮した駅周辺整備をしていく必要がある。

(2) 会議等の運営方法

- ・ 「環境・景観部会」、「交流人口拡大部会」も早めに立ち上げてほしい。
- ・ まちづくりのアイデアなどを広く取り入れる仕組みを考えてほしい。
- ・ いろいろな計画事例のプロセスも参考にすることが必要である。

(3) 整備区域

- ・ 施設配置はイメージであり、今後具体的に検討する必要がある。
- ・ コンパクトな駅周辺整備をお願いしたい。
- ・ 専門的な視点から見てもコンパクトな整備区域であると思う。
- ・ 今回示されたのは平面的なものであるが、今後立体的に検討する必要がある。
- ・ 中心市街地との役割分担を考える必要がある。
- ・ 広場や平面駐車場などは、防災施設などとの複合的な利活用が考えられる。
- ・ 整備区域内外の計画をすり合わせていく必要がある。
- ・ 整備区域外の土地利用も重要な課題であるため、並行して検討する必要がある。

(4) 地域住民への配慮

- ・ 基本構想の中で「地域の住みやすさに配慮した駅周辺整備を進める」と謳われているが、地域住民のことを考える組織がない。については、行政と地域が一緒になった、地域の住みやすさ、地域コミュニティ維持などを検討する組織をつくって

ほしい。

- ・土地利用計画における重点協議区域は、地域住民にとって非常に重要である。
- ・地域住民が利活用できるような駅周辺整備をしてほしい。

(5) J R 飯田線との結節

- ・どのような場で検討していくか決める必要がある。
- ・J R 東海（株）と協議し、うまく結節ができるようにしてほしい。
- ・外国人は鉄道利用者が多いので、その点を考慮してほしい。